

Q 市平和教育・平和事業の実施は

A 平和社会づくりの一員を目指す

松村 和子 議員

- 質問一 前空幕長の論文について。
- 二 イラク派兵と輸送活動に対する違憲判決について。
- 三 非核平和都市宣言の実施は。
- 四 教育条件の充実について。
- 五 学校の平和教育の実施状況は。
- 六 教員の多忙化による病気増加の状況について。
- 七 教員免許更新に当たっての配慮と保証について。
- 八 全国一斉学力テストはやめて、**答弁一(市長)** 政府の公式の歴史の見解は、いわゆる村山談話であると認識している。
- 二 個々の裁判の判決について、論じる立場ではないが、高等裁判所裁判官の指摘と考える。
- 三 市民意識の高揚が不可欠であり、今はその時期に至っていない。**四(教育委員長)** 学習支援員、



- 学級運営補助員、小学校理科支援員、外国語指導助手の配置や、学校応援団により学校、家庭、地域社会と協力して行きたい。
- 五 平和な社会づくりの一員となる児童生徒の育成に努める。
- 六 多忙が原因の病気はない。
- 七 更新講習の受講に配慮する。
- 八 子どもたちの生活習慣の改善と確かな学力の向上を目指す。
- ◎**その他の質問** 都市計画道路の見直しと南西部地区の開発凍結

Q PFIや丸投げはなじみません

A 民間手法も視野に入れ調査検討

高田 克彦 議員

- 質問一 なぜ、学校給食センター更新の整備手法にPFI方式を含め検討するのか。
- 二 埼玉県立がんセンター建て替えに際し、施設整備検討委員会はPFI方式は不適と報告書をまとめている。本市の導入プロセスは。
- 三 給食費の値上げはやめてもらいたい。
- 四 市立保育園を民間運営にするのと市の責任はどうなるのか。
- 五 保育料の値上げはやめてもらいたい。
- 答弁一(教育委員長)** 厳しい財政状況の中、効果的で質の高い行政サービスを確保するため、PFI方式も視野に入れ検討していく。
- 二 PFI事業の特性を理解し導入を検討。がんセンターの場合は、制度等の変化が難しい医療現場では、長期の契約は難しいとのこと。
- 三 平成4年度以来価格を据置き、2学期制の導入での給食予定回数増に対応するため来年度から実施。
- 四(市長)** 厳しい行政運営の中で、指定管理者制度も選択肢の一つだが、最終責任は市にある。
- 五 今後の国の基準の見直しや市の財政状況によるが、現状では、具体的な値上げの予定はない。
- ◎**その他の質問** オセアニア造形美術品は市の宝



学校給食センター